PR

Bluetoothフロート型イヤホン

JBL SOUNDGEAR SENSE

¥OPEN（直販サイト価格 ¥22,000前後）

SPEC ●通信方式：Bluetooth 5.3 ●対応コーデック：SBC、AAC ※LC3コーデックにも対応予定 ●ドライバー口径：16.2mm ●連続再生時間：6時間（ケース込み24時間） ●質量：約13.1g（イヤホン／片側） ●付属品：充電ケーブル、ネックバンド

ライフスタイル大賞

金賞

評論家が選んだ「ながら聴き」イヤホンのNo.1

「暮らしを変えるパワー」を選考基準にする
ライフスタイル分科会において最高位の特別賞に輝いた
ながら聴きイヤホンNo.1「JBL SOUNDGEAR SENSE」に迫ります。

世界中から熱視線を集めている話題作

VGP審査員 **山本 敦**

JBLが初めて商品化した「耳を塞がない」スタイルの左右独立型の完全ワイヤレスイヤホン。ドイツのベルリンで、世界中から集まった数百人以上のジャーナリストとインフルエンサーの目の前で、本機が発表された時の熱気が今も忘れられません。ベールを脱いだ「JBL SOUNDGEAR SENSE」が試聴できるコーナーには絶えず行列ができていました。斬新なスタイル、JBLらしいパワフルなサウンドを体験した参加者は一様に興奮した様子でした。筆者もその一人です。

筆者が高く評価したポイントは、大きく3つあります。

ひとつは装着性の高さです。本機が採用する可動式のイヤーハンガーは4段階で角度を調整できます。ゆえに耳もとの安定感が抜群によいのです。耳の形がいびつなうえ、いつもメガネをかけて過ごしている筆者でさえも、本機なら耳に吸い付くようなフィット感が得られました。パッケージに同梱するアクセサリーを使って、ネックバンドスタイルのワイヤレスイヤホンとして2wayスタイルで楽しめるのも魅力的です。イヤホン本体はIP54等級対応なので、散歩やランニングのパートナーとしても、本機をイチオシしたくなります。マルチポイントに対応している点も、使い勝手のよさにつながっています。

そしてふたつめは言うまでもなく音質。サウンドがリッチです。初めて試聴した瞬間、耳を塞がないスタイルのオープン型イヤホンであることを一瞬うたがってしまうほど、耳の奥までストレートに届くパワフルなサウンドに心を奪われました。骨伝導方式ではなく、パワフルな中低音域が楽しめる空気伝導方式を採用していて、ボーカルや楽器のメロディはとても鮮度が高く、低音のリズムが太く切れ味にも富みます。JBL Headphonesアプリに搭載するイコライザーも活用して、思う存分に音楽を楽しめます。

そして最後に、外への音漏れを防ぐ仕組みを持っていることにも注目です。耳を塞いでいないのに音漏れが少ないことにも注目してください。

VGPアワードで、最高位に当たるライフスタイル大賞を受賞した本機。その斬新さは伊達ではありません。

「ながら聴き」にぴったり！

耳を塞がないオープンイヤースタイル。イヤホンをしたまま周囲の音を聴き取ることができます。空気伝導方式で、独自の低音増強アルゴリズムを採用。JBLブランドを名乗るにふさわしい、迫力のサウンドも持ち味です。

耳にフィットで高音質

イヤーフックは軸を回転させることができるほか、ドライバーが耳元にしっかり当てられるように、上下4段階で調整する機構を採用。耳元にまっすぐスピーカーが向かうポジションにでき、誰でも高音質が得やすいのも特長です。

音漏れを防ぐ技術

オープンイヤー型の「ながら聴き」イヤホンとしては望外のサウンドを実現しつつ、外部への音漏れについても、逆位相の音を当てることで打ち消す仕組みを採用。驚くなかれ不思議なサウンド体験が得られます。

PR

ドルビーアトモスの立体音響に対応！サウンドバー金賞モデル

映画文化と共に歩み続けてきた「JBL」ブランド。
そのサウンドバーがアワードを席巻しています。
ドルビーアトモス対応、独自音響技術、
そして絶妙なサウンドチューニング。
大画面テレビのパートナーに最適な
ベストインクラスの新作&定番をご紹介します。

圧巻の映画館品質、ラインアップも充実

VGP審査員 **鴻池賢三**

アメリカ発祥で長い歴史を持つ世界有数のスピーカーブランド「JBL」。家庭用のハイファイオーディオとして有名ですが、プロの現場、劇場や映画館なども支える存在で、誰もが一度は耳にしていることでしょう。時代と共に変化と進化を続けてきましたが、サウンドへのこだわりは一貫して健在。力強く張りを感じる音の「JBLらしさ」は、小さなポータブルスピーカーにまで息づいています。

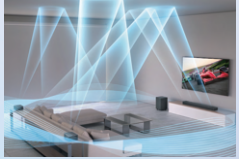
そんなJBL製品の中でも、特に幅広いユーザーの支持を集めているのが、テレビの音を強化する「サウンドバー」。長らく劇場の音響を担ってきたスピリットを継承するかのような堂々たるサウンド、映画を知り尽くしたサラウンド表現、そして最新のデジタル技術の融合が、家庭のテレビのエンターテインメント水準を高みへと導きます。

「BAR300」はテレビ前のスペースで完結。5万円弱と手軽な価格で、ドルビーアトモス対応、自動キャリブレーション機能を搭載し、JBLならではの高音質と迫力を手軽に楽しみたい方にうってつけです。

「BAR500」はワイヤレスサブウーファーが付属し、設置や接続がシンプルでありながら、映画サウンドの醍醐味である重低音を鳴らし切ります。ラインアップ最上位の「BAR1000」は、充電式で設置や移動も容易にした「ワイヤレスリアスピーカー」が画期的。フロントスピーカーとリアスピーカーには、上方に向いたイネーブルドスピーカーも内蔵し、360度全方向から包み込まれるかのような高度な「7.1.4ch」イマーシブサウンド再現が特長。圧倒的な重低音を生み出すパワフルなサブウーファー、デジタル信号処理による広大かつ緻密な音場再現など、リビングで最高峰の映画・音楽体験と、手に届きやすい価格の両立は他に類を見ません。

これらは全て価格帯No.1の証、金賞を獲得しています。ライフスタイルや予算に応じて「選べる」のもJBLサウンドバーの魅力です。

JBL独自技術「MultiBeamテクノロジー」



3機種すべてに搭載されている、JBL独自の高音質化技術が「MultiBeamテクノロジー」。ユーザーの視聴環境に合わせて最適なサラウンド効果が提供できるように、サウンドバー本体に内蔵されたマイクで室内音響を測定して、音をビーム化して壁に反射させる仕組みなどを応用して、リアルなサラウンドを実現します。

サウンドバー

JBL BAR300

ライフスタイル VGP 2024 金賞

¥OPEN（直販サイト価格¥49,500／税込）

SPEC ●総合出力：260W ●スピーカー構成：5ch ●接続端子：HDMI(eARC対応)、HDMI入力×1、光デジタル音声入力、Bluetoothほか ●外形寸法：820W×56H×104Dmm ●質量：2.5kg

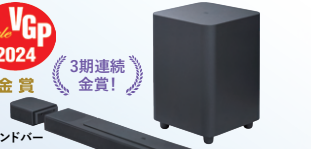
ライフスタイル VGP 2024 金賞

サウンドバー

JBL BAR500

¥OPEN（直販サイト価格¥71,500／税込）

SPEC ●総合出力：590W ●スピーカー構成：5.1ch ●接続端子：HDMI×1（eARC対応）、HDMI入力×1、光デジタル音声入力、Bluetooth、LANIほか ●外形寸法：1017W×56H×103.5Dmm（サウンドバー部）、305W×440.4H×305Dmm（サウブウーファー）●質量：2.8kg（サウンドバー部）、10kg（サブウーファー）



ライフスタイル VGP 2024 金賞

3期連続金賞！

サウンドバー

JBL BAR1000

¥OPEN（直販サイト価格¥143,000／税込）

SPEC ●総合出力：880W ●スピーカー構成：7.1.4ch ●接続端子：HDMI×1（eARC対応）、HDMI入力×3、光デジタル音声入力、Bluetooth、LANIほか ●外形寸法：1194W×56H×125Dmm（サウンドバー部／リアスピーカー装着時）、305W×440.4H×305Dmm（サブウーファー）●質量：6.5kg（サウンドバー部／リアスピーカー装着時）、10kg（サブウーファー）

<PR>お問い合わせ：ハーマンインターナショナル https://jp.jbl.com/